

# わがまちの「ちょっといい話」

NO. 4

「道徳のまち笠松」推進会議  
(笠松町教育文化課)

## ○ 行動する人あり

前号で、名岐バイパス新木曾川橋付近のごみを片づけた話をお伝えしました。この場所は、すぐ目につく汚れた場所のひとつです。一刻も早く、

きれいにしたいと思い、十月中旬に急いで計画し、町内会長さんにもお伝えし準備しました。ところが、下旬になって、周辺の道路わきのごみが少しずつなくなっているではありませんか。どなたが片づけていただいたのかわかりません。私たちにわかることは、この道路わきのごみを放置できない心の持ち主があり、真っ先に行動されたというだけです。

## ○ 「ごみに対する鋭い心！」

笠松町は、全体としてはきれいです。しかし、民家がまばらで交通量の多い

道路や公共地では、ごみが目につきます。地域で清掃活動が行われますが、常にきれいに保つことは、なかなかむずかしい。ごみとなった紙は変色し、空き缶やペットボトルは車や人に踏みつぶされてペットチャンコとなり、道の端や草むらに散乱する。タバコの吸い殻もフィルターの繊維がばらばらにな

## みんなを「ちょっと意識したい」笠松人の心

り道路にへばりつく。こうした光景が日常化すれば、ごみに対する人の心はしだいに鈍くなります。気にならない人が増え、ごみもいっそう増えます。

## ○ 息づく笠松人の心

町内で、ごみを拾っておられる方を見かけます。ごみに対する鋭い心を持ち、これを見過ごさないで町の一人として、まず自分にできることをやるうとの

思いからでしょう。この心こそ、“笠松人のこころ”です。こうした思いや考えを、私たち一人ひとりが今一度、自分の心につなぎとめてみてはどうでしょう。こうした考えをみんなが、ちょっとずつ意識し、当たり前のこととして行動すれば、ポイ捨てごみは減り、わが笠松はさらにきれいなまちとなります。そして、この町に住む私たちの心も温かく豊かなものとなります。



道路わきに散乱するごみ (10月中旬)